

1. 経営の構想

第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえ、各学校園において重点的に取り組んでいきたい事項
館山市学校教育重点施策

房南学園教育目標

本校の課題

『勤勉・協働・郷土愛』
一ふるさと房南を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成ー

- ①学ぶ意欲の育成
- ②思考力・表現力の育成
- ③特別な支援を要する子への対応

学校教育目標

かしこく なかよく 元気よく

こんな学校で

こんな教職員に

- (1) 確かな学力が身に付いた子が育つ
- (2) 豊かな心をもった子が育つ
- (3) 心身のたくましい子が育つ

子どものことを第一に考え、学校経営に進んで参加し、学校教育目標達成に向けて協力し合う。

- (1) 確かな学力が身に付いた子を育てる
 - ① わかる授業を実践する
 - ② 全員参加の授業を実践する
- (2) 豊かな心をもった子を育てる
 - ① 「房南小の子どもたちとの1日」を率先垂範する
 - ② 生徒指導の機能を生かした教育活動をする
 - ③ いじめの未然防止、早期発見、早期対応
 - ④ 地域の良さを理解し、教育活動に生かす
- (3) 心身のたくましい子を育てる
 - ① 外遊びを励行する
 - ② めあてをもたせ、達成のために支援する

こんな子どもに

かしこく なかよく 元気よく

- (1) 確かな学力が身に付いた子 (かしこく)
 - ① 基礎・基本が身に付いている
 - ② 学ぶ意欲がある
 - ③ 自ら考え、よりよく問題解決する
- (2) 豊かな心をもった子 (なかよく)
 - ① 挨拶ができる
 - ② 認め、協力し合う
 - ③ 地域を理解し、愛する
- (3) 心身のたくましい子 (元気よく)
 - ① 健康・安全に気を付ける
 - ② 外遊びをする
 - ③ めあてに向かってがんばる

経営の重点

- (1) 確かな学力が身に付いた子を育てる
 - ① 課題の設定や活動、体験的活動の重視
 - ② 中学校教諭とのTT ICT活用
 - ③ 朝学習の充実
- (2) 豊かな心をもった子を育てる
 - ① 「房南小の子どもたちとの1日」の徹底
 - ② 縦割り活動
 - ③ ハイパーQUの活用
 - ④ 地域教材の開発・実践
- (3) 心身のたくましさ育てる
 - ① 健康・安全指導の充実
 - ② 外遊びの推進
 - ③ 個々に目標をもたせ、目標達成に向けてがんばることの推進

*上記の基盤として

- ① 地域の教育資源の活用、地域への情報発信
- ② 交通安全指導の日常化、災害対応能力の育成
- ③ 中学校との連携・接続の体制強化
- ④ 特別な支援を要する子への全校的支援体制

2. 経営の基本方針

かしこく（確かな学力が身に付いた子）、なかよく（豊かな心をもった子）、元気よく（心身のたくましい子）を育む教育活動を実現する。

(1) 確かな学力が身に付いた子を育てる

① わかる授業を実践する。

- ・基礎的・基本的な力を身に付けるため、繰り返し指導、TTによる指導、ICTの活用
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善のため、「思考し、表現する力を高めるための実践モデルプログラム」の活用

② 「全員参加の授業」を実践する。

- ・人の話を聞く態度の育成、課題設定の工夫、活動や体験の重視、集団思考の充実、表現の仕方の工夫、学習の振り返り

(2) 豊かな心をもった子を育てる

① 教職員が、「房南小の子どもたちとの1日」を率先垂範する。

② 教育活動のあらゆる場面に生徒指導の機能を生かす。

- ・自己決定の場を与える
目標やきまり、役割分担等を自分たちで決め、表示し、責任をもたせる。
一人で考える時間を保障する。
 - ・自己存在感を与える。
活動の場を与え、プラスの評価をする。
どんな発言も取り上げる。
授業のどの場面でもどの子どもを生かすか、指名計画を立てる。
個に応じたアドバイスをする。
 - ・共感的人間関係を育成する。
教職員も子どもも一緒になって活動する。
一人一人を受け入れ、ほめる。
子どもの良さや可能性を保護者に伝えていく。
子どもの発言は、言い終わるまで待つ。
 - ・認め合い、高め合う集団作り…学級やグループ活動、縦割活動等において、友達の良さを知り協力し合うとともに、異なる考えを尊重し生かす活動を工夫する。
- #### ③ 地域の良さを理解し、教育活動に生かす。
- ・教職員が地域の教育資源（人、もの、こと）について理解する。
 - ・自身や学校、家庭、地域の良さや課題に気づき、教育活動に取り入れたり、地域の課題を解決したりする場を設定したりする。
- #### ④ いじめの未然防止、早期発見、早期対応の充実
- ・ハイパーQUの活用 相談窓口 相談箱 アンケート（6月、12月）・面談
いじめ対策委員会

(3) 心身のたくましい子を育てる。

① 健康・安全に気を付ける

- ・「自分の命は自分で守る」をテーマに、日常的、組織的、計画的な指導をし、実践的行動力を身に付けさせる。

② 外遊びを励行する。

- ・晴れた日は、職員も1日に1度は、子どもと一緒に遊ぶことに努める。

③ めあてをもたせ、最後までめあて達成に向けて粘り強くがんばることができるように支援する。

本年度の重点

研修【日常的な研修、職員研修】を核として、以下のことを実施する。

職員研修の成果物は、次年度以降、活用できるものを作成する。

(1) 確かな学力が身に付いた子を育てる

- ① 主体的・対話的で深い学びを視点にした授業改善 【日常的な研修】
・「思考し、表現する力を高めるための実践モデルプログラム」の活用
- ② 思考力、表現力を高めるための研修 【職員研修】
・講師を招聘しての一人一実践
- ③ 新しい教育の推進
・タブレット端末の活用の推進 【職員研修】
・ICTの授業での活用 【日常的な研修】

(2) 豊かな心をもった子を育てる

- ① 地域を理解し、愛する子を育むための教育活動の実践 【職員研修】
- ② 特別な支援を要する子への支援体制の構築 【日常的な研修】

(3) 心身のたくましい子を育てる

- ① 新型コロナウイルス感染症等に対応した実践的行動力の育成 【日常的な研修】

以上の基盤として、以下のことを行う。

(1) 学校教育目標の具現化

- ・「かしこく、なかよく、元気よく」の子どもへの意識化
- ・日常の授業での実践、学校生活目標への反映
- ・教職員の目標申告、学級経営案、教育活動での具現化

(2) 家庭や地域との連携・協力の推進

- ・ブログや便りや個人面談での保護者への子どもの成長やがんばりの紹介
- ・地域への学校教育への理解と協力体制の構築
- ・交流学习の充実を図る。(こども園、老人会、中学校、大田区立さざなみ学校、安房特別支援学校等)

(3) 小中の教職員の連携・協力

- ・小中教科部会での見通しをもった連携・協力体制
- ・生徒指導、T・Tや行事等による小中学校の教職員同士の協力や情報交換